

様式1 (法第93条第1項関係の届出の様式：民間の土木工事のための発掘に関する届出)

工事予定日より60日以上
前の日付

文書整理番号
令和〇〇年〇〇月〇〇日

福島県教育委員会教育長 様

住 所 □□□□□□□□□□□□□□

氏 名 等 ○○株式会社代表取締役社長

○ ○ ○ ○

※工事主体者=届出者
※押印省略可

埋蔵文化財発掘の届出について

周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事等のための発掘を実施したいので、文化財保護法（昭和25年法律第214号）第93条第1項、同第184条第1項及び文化財保護法施行令（昭和50年政令第267号）第5条第2項の規定により、下記の事項について、関係書類を添付し、別記のとおり届け出ます。

記

- 1 土木工事等をしようとする土地の所在及び地番
- 2 土木工事等をしようとする土地の面積
- 3 土木工事等をしようとする土地の所有者の氏名又は名称及び住所
- 4 土木工事等をしようとする土地に係る遺跡の種類、員数及び名称並びに現状
- 5 当該土木工事等の目的、計画及び方法の概要
- 6 当該土木工事等の主体となる者（当該土木工事等が請負契約等によりなされるときは、契約の両当事者）の氏名及び住所（法人その他の団体の場合は、その名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地）
- 7 当該土木工事等の施行担当責任者の氏名及び住所
- 8 当該土木工事等の着手の予定時期
- 9 当該土木工事等の終了の予定時期
- 10 その他参考となるべき事項

【添付書類】

土木工事等をしようとする土地及びその付近の地図並びに当該土木工事等の概要を示す書類及び図面

別 記

93条第1項

		県文書番号		第	号	・令和	年	月	日
		開発面積							
1. 所在地	〇〇市〇〇町〇〇 1-1、2の一部、水←								
2. 面積	〇〇㎡								
3. 土地所有者	住所：〇〇市〇〇町〇〇 氏名等：〇 〇 〇 〇								
4. 遺跡の種類	散布地 <u>集落跡</u> 貝塚 都城跡 官衙跡 城館跡 社寺跡 古墳 横穴墓 その他の墓 生産遺跡 その他の遺跡()								
遺跡の名称	〇 〇 遺跡 (県遺跡番号 0000-00000) 員数 ← 1								
遺跡の現状	宅地 水田 <u>畑地</u> 山林 道路 荒蕪地 原野 その他()								
遺跡の時代	旧石器 縄文 弥生 <u>古墳</u> 奈良 平安 中世 近世 その他()								
5. 工事の目的	道路 鉄道 空港 河川 港湾 ダム 学校建設 集合住宅 個人住宅 工場 店舗 個人住宅兼工場又は店舗 その他建物() <u>宅地造成</u> 土地区画整理 公園造成 ゴルフ場 観光開発 ガス 電気 水道等 農業基盤整備事業(農道等を含む) その他農業関係事業 土砂採取 その他開発()								
工事の概要	アパート建設による土地造成。丘陵部を掘削して2階建2棟を建設予定。隣接地は平成〇〇年に同社が開発。その際試掘調査を実施し、住居跡4軒を検出、協議により記録保存のための本発掘調査を実施した。など								
6. 工事主体者	住所：〇〇市〇〇町〇〇 氏名等：〇〇株式会社代表取締役社長 〇 〇 〇 〇								
7. 施行責任者	住所：〇〇市〇〇町〇〇 氏名等：〇〇建設会社代表取締役社長 〇 〇 〇 〇								
8. 着手予定時期	令和〇〇年〇〇月〇〇日				9. 終了予定時期	令和〇〇年〇〇月〇〇日			
10. 参考事項	届出の日付より60日以上後の日付								
記入しない									
指導事項	発掘調査 工事立会 慎重工事 その他()								

・該当する字、地番をすべて記入
・開発範囲が当該筆の一部の場合は、その旨を記載
・所有者が多いなど、枠に入らない場合は、土地所有者ごとに地番をまとめ別紙一覧表を作成

遺跡が重複している場合は遺跡名を列挙し、員数は2

遺跡台帳の番号を確認の上記入

氏名まで記入

記入しない

[注意事項] ①太線内は届出者が記入。 ②指導事項欄は県教育委員会で記入。
③遺跡の種類・現状・時代及び指導事項欄は該当項目を○で囲み、該当項目のない場合は()内に記入。

①位置図…おおよその位置がわかる図面（ドット表示可能）

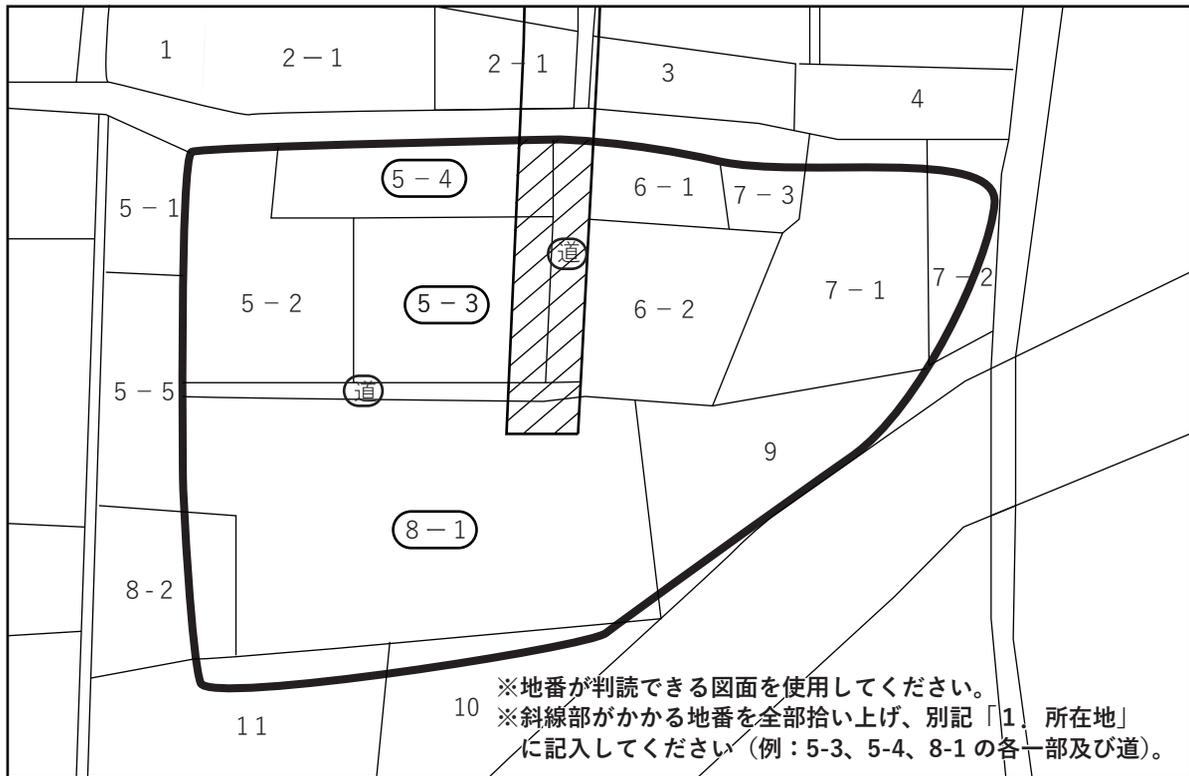


※「杉妻町遺跡」はフィクションです。

②平面図その1（範囲図）…遺跡の範囲と開発範囲との位置関係が分かる図面

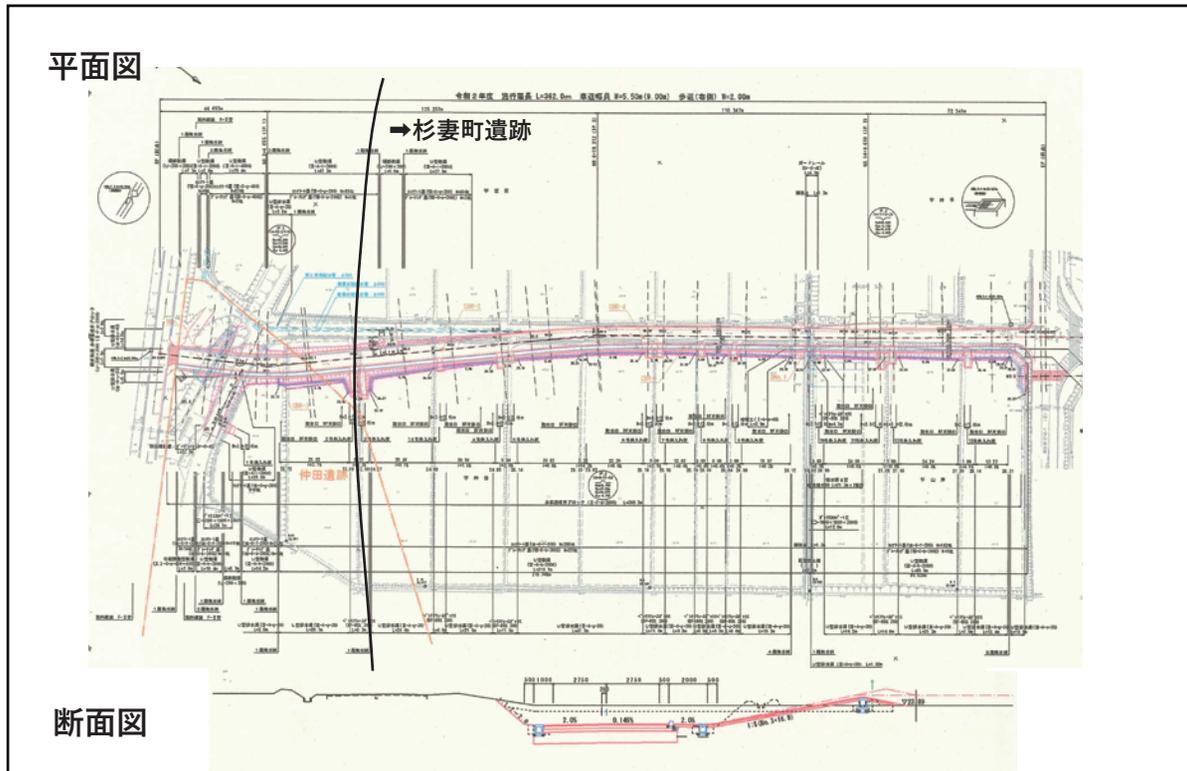


③平面図その2（公図）…地番と工事範囲の関係がわかる図面



※「杉妻町遺跡」はフィクションです。

④工事計画図（平面図・断面図）



※「杉妻町遺跡」はフィクションです。

様式 1・2 関連（法第 9 3 条第 1 項及び法第 9 4 条第 1 項の添付書類等一覧）

必要書類		チェックのポイント	チェック欄
進達文	93・94条 提出日	第93条の場合は、工事に着手しようとする日の60日前までの日付か。	
		第94条の場合は、工事着手予定日より前の日付か。	
	協議の結果	試掘・確認調査の結果等は正しく反映されているか。	
		工事計画（掘削深度や盛土高等）は具体的に挙げられているか。	
別記	1所在地	地番（工事範囲と周知の埋蔵文化財包蔵地範囲が重なる範囲）が過不足なく記載されているか。	
		公図（地籍図）と照らし合わせて地番をチェックしたか。	
		地番不明の「道」等も記載しているか。	
	2面積	工事範囲と周知の埋蔵文化財包蔵地範囲が重なる範囲の面積が記載されているか。	
	3土地所有者	「1所在地」に係る土地所有者が過不足なく記載されているか。	
		土地所有者全員の住所が正しく記載されているか。	
	4遺跡の種類	「福島県埋蔵文化財包蔵地台帳」に記載されている事項をもれなく転記したか。	
員数が記載されているか。			
8着手予定時期	第93条の場合は、提出日から60日後よりあとの日付であるか。		
	第94条の場合は、提出日よりあとの日付であるか。		
図面	全般	用紙はA4に統一されているか。①～④はすべてそろっているか。	
	①位置図	周知の埋蔵文化財包蔵地の位置がわかるような縮尺の小さな図面か（位置はドットで示しても可）。	
	② 平面図その1 (範囲図)	工事範囲及び周知の埋蔵文化財包蔵地範囲の重複部分が明確に記載されているか。	
		縮尺が1/500～1/1000程度であるか。	
	③ 平面図その2 (公図)	字名や地番が判読できるか。	
		周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲は記載されているか。 別記「1所在地」に記載されている地番とすべて照合できるか。	
	④ 工事計画図 (平面・断面)	建物等の平面図はあるか。	
		柱状改良等の地盤改良工事を行う場合は、その平面図・断面図はあるか。	
平面図に対応する断面図はあるか。			
建物の大きさや掘削深度などの法量が記載されているか。			
別記記載の開発面積を確認できる根拠となる図面はあるか（図面に面積が記載されているか）。 埋蔵文化財が確認されている場合、断面図に遺構確認面の高さが図示されているか。			